「さわやか西中　あこがれの自分を求めて」
平成28年度　柳津町立西山中学校

学校だより

平成28年8月25日(木)発行　第　18　号　発行責任者:髙橋　弘悦

2学期もよろしくお願いいたします

台風の襲来には少し心配させられましたが、大きな被害もなく、逆にこれまでとは違った空気を運んできてくれたように思います。

本日から、平成２８年度の第２学期をスタートします。

おかげさまで、この夏休みは大きな事故もなく、子どもたちも毎日のように登校し、「夏に鍛える」のことば通り、例年以上に大きく成長してくれました。

７月３０日の「奥会津オープンセミナー」、２８日からの「ふれあいの翼」への参加で、世界を感じる体験をし、駅伝、英弁、合唱練習では、噴き出す汗をものともせず、自分の限界に挑戦する日々を過ごしました。８月２３日に行われた「耶麻・両沼合同音楽祭」では、その成果が「優良賞」受賞という形で返ってきました。１２人の学校では考えられもしない大きな受賞でした。

通常の学校は、夏休み中は閑散とするものですが、西山中学校は、駅伝、合唱、部活動、英語弁論、そして自主学習に励む生徒で連日にぎわっていました。保護者の皆様のご協力に感謝致します。

さて、夏休み中の活動の成果を問う英語弁論大会や駅伝大会等が目前に迫っています。２学期は活動の学期といわれています。暑い夏の盛りに、大粒の汗を流しながら努力した本校生徒に、さらに大きな成果が待っていることを期待したいと思います。

一流の先生の指導を受けました

８月９日、元福島大学教授で、日本のバリトン界の第一人者竹澤嘉明先生の特別レッスンを受けました‼どこまでも贅沢な西山中学校ですd=(ˆoˆ)=b

１２人の挑戦結実！

耶麻・両沼合同音楽祭優良賞受賞

西山中全校生徒が８月２３日、喜多方プラザで開催された耶麻．両沼合同音楽祭で、優良賞に輝きました。全校生１２名、しかも男声が１名という厳しい条件下での大きな賞の受賞です。

ご存じの方も多いかと思いますが、少人数との理由から、長年にわたって参加を見送ってきた大会です。２６年度には聴衆として参加、２７年度にはコンクール対象外として「特別枠」で参加してきました。そして、ここ数年でも最も不利な条件下での「挑戦」です。

ひたむきでていねい、心が感じられる演奏ではありましたが、賞の受賞までは想定していませんでした。この人数でステージに立ったことだけでも誇れること…。審査員、聴衆の心をつかんだ生徒諸君に心から賛辞を送ります

弘美先生の独り言

全校生12名（うち男子1名）でコンクールに挑戦したN中学校。生徒だけではなく、先生方のご協力もあって本当の全校体制での取り組みでした。

まさに、西山の杉のように真っ直ぐな子どもたち。歌声も素直で、音楽を表現しようとする力もあります。少人数の良さと少人数ゆえの難しさとありましたが、会場にいた人に衝撃を与えたんじゃないかなと思っています。12名でも、男子が1人でも、これだけできるんだぞって。

個人的には妥協してしまった所があったりしました。そこを詰めてあげることでもっともっと西山の子どもたちの演奏が光ったんじゃないかなと感じています。

実は今年は竹澤先生や、高校時代お世話になった山ノ内先生にご指導をいただくことがありました。

竹澤先生のご指導では、ホンモノを間近で体験した子どもたちがぐっと伸びる様子や、子どもたちのもつ可能性を強く感じさせていただきました。（そんな指導を間近で見させていただいたおかげで私の発声も良い方向にという恩恵もw）

そして、山ノ内先生には子供たちにどう音楽の楽しさや表現することを教えるのか、そのためにどういう指導が必要なのか、自身の曲への理解の大切さと曲の組み立て方を教えていただきました。

教わることの大切さを実感した夏だったように思います。

なんだかんだと長くなってしまいましたが（笑）

悔しさとか、後悔とかもあるけど、とってもとっても充実した活動だったなって思えるひと夏でした。

とにかく終わったー！！！

そして、夏休みもおわるー（泣）

奥会津の課題を共有した学生と生徒ら

奥会津の課題語り合う

米大学生と地元中高生

オープンセミナー

米・スタンフォード大など一流大学の学生を招いた奥会津オープンセミナーは7月30日、三島町民センターで開かれ、学生らと地元の中、高校生が少子高齢化など地域の課題について語り合った。

ＩＯＲＩ倶楽部、三菱総合研究所の主催。

三菱総研が毎年インターン生を受け入れている研修の一環。奥会津の魅力や課題を共有してもらおうと、初めて企画された。

参加したのは、同大のほか、カリフォルニア大サンディエゴ校の学生5人。地元側は、三島、西山、金山各中と川口、葵両高の生徒ら約30人が出席した。

始めに、手作りの名刺を交換した後、各校の校歌を紹介し合った。続いて、大学生がそれぞれ自己紹介した。

昼食後、三菱総研の木田幹久さんと、三島町に拠点を置く情報技術関連企業「ｔｏｏｒ（トア）」の高校佳男社長の進行で奥会津の課題を話し合った。中、高校生が現状を発表した後、活発に意見交換した。

元「ヤンキー」で、猛勉強で名門のカリフォルニア大バークレー校に入学、卒業した鈴木琢也さんも参加し、生徒たちに自身の経験などを語った。

平成２８年８月１日福島民友